

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習を通して～

研究の重点内容

- ① 主体的に追究する問いの工夫
- ② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
- ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫

都小社5年部会

笠原実践「環境を守るわたしたち」における研究内容

- ① 子供が自ら学習状況を把握しながら「問い」を追究するための工夫
- ② 図や表などにまとめて整理する活動
- ③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

① 子供が自ら学習状況を把握しながら「問い」を追究するための工夫

◎今回の実践のテーマ

児童に「学びのハンドル」を握らせた社会科授業とは？

「問いの構成」に整理してみるけど、教師が「問い」を提示しているように見えてしまう…。

昨年度、開発した教材を活用して、もっと児童が主体的に学ぶ姿が見られる実践にできないだろうか…？

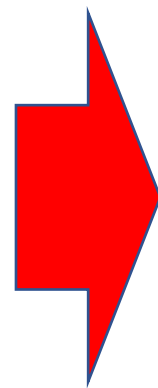
「調べる」段階の追究の仕方の工夫

小単元「環境を守るわたしたち」

国や都による公害を
なくす取組

企業による公害を
なくす取組

市民団体の公害を
なくす取組



学習の構造として、「公害をなくすための取組」を様々な立場から調べるという学習内容

調べるための「問い」について、一つ一つの内容の順序性があまり問われないという特徴

「調べる」段階の追究の仕方の工夫

学習問題：東京湾の水をきれいにするために、誰がどのようなことをしたのだろう。←

問い：国や東京都は何をしてきたのだろう。←

- ・どのような仕組みや工夫をしたのだろうか？←
- ・苦労することや困っていることは何か？←

問い：企業は、何をしてきたのだろう。←

- ・企業はどんな工夫をしているのだろうか？←
- ・なぜ企業の協力が必要なのだろうか？←

問い：市民団体は、何をしてきたのだろう。←

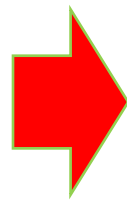
- ・どのような市民団体があり、何をしているか？←
- ・どんな課題があるのだろうか？←

問い：それぞれはどうつながっているのだろう。

児童の問題意識に応じて、調べる順序や資料、方法の選択に幅をもたせることで、自分が学び方を選択できるようにする。

「調べる」段階の追究の仕方の工夫

「調べる」段階の学びを
児童に委ねたい！



「つかむ」段階において、児童の
問題意識をしっかりと高めておく
必要がある！

昨年度の実践

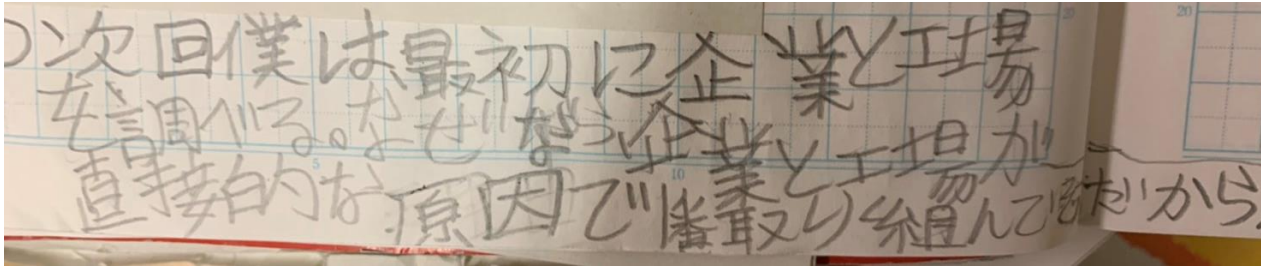
モデル事例として、水俣病の
状況をつかんでから、東京湾
の公害について学習

今年度の実践

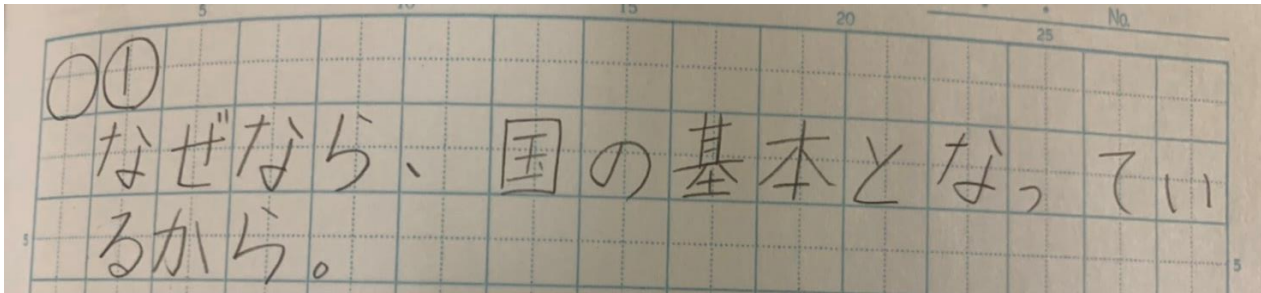
全国の公害発生の背景や広が
りから、東京湾の公害の状況
について、じっくり学習

「調べる」段階の追究の仕方の工夫

第2時での学習計画



次回僕は最初に企業と工場
を調べる。なぜなら企業と工場が
直接的な原因で廃棄物を出しているから。



①
なぜなら、国の基本となっ
ているから。

「学習計画」を立てる際に、
「自分は、こういう理由で
〇〇から調べる」と考え
させることで、調べるための
目的や追究意欲を喚起
していく。

「調べる」段階の追究の仕方の工夫

児童の学びの場の環境を整える



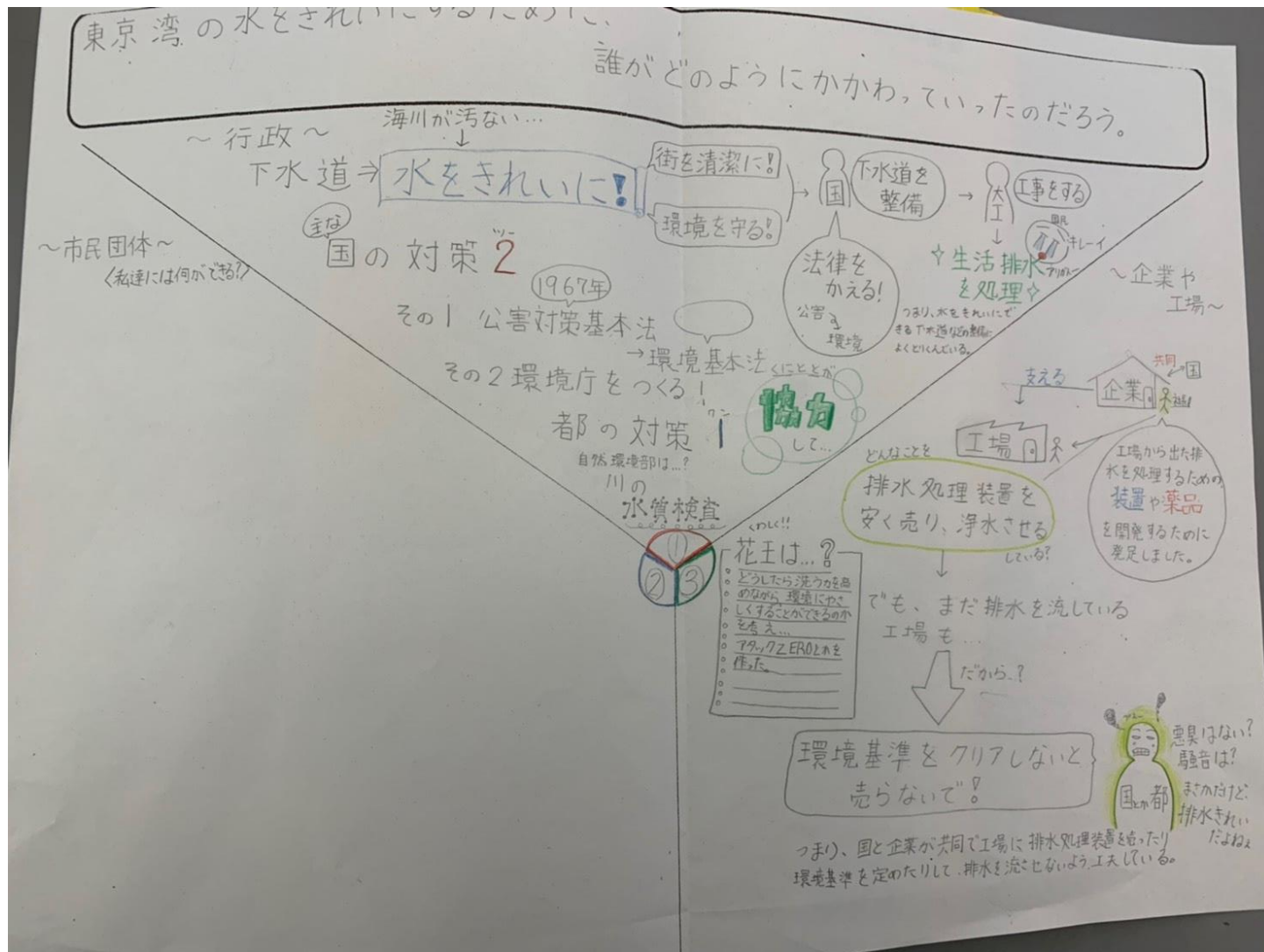
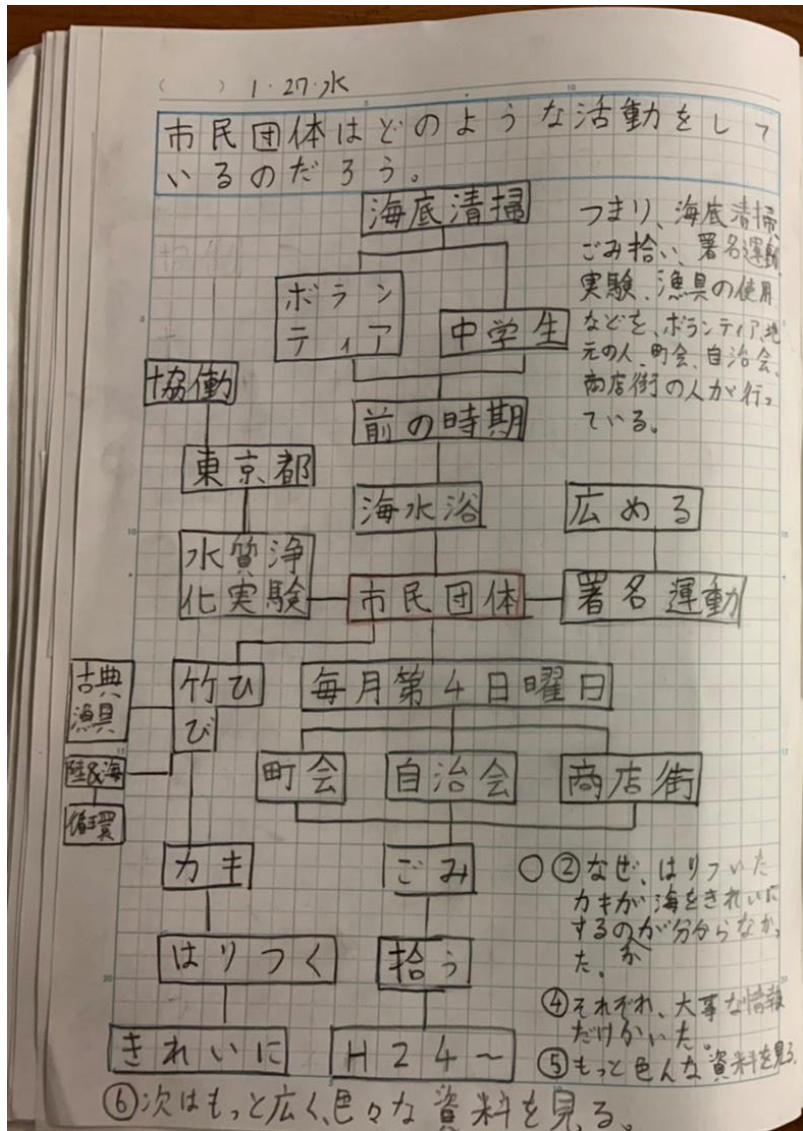
調べる資料を選択できる

思考ツールなどの
ワークシート

付箋氏の活用

活用できる動画の整理

「調べる」段階の追究の仕方の工夫



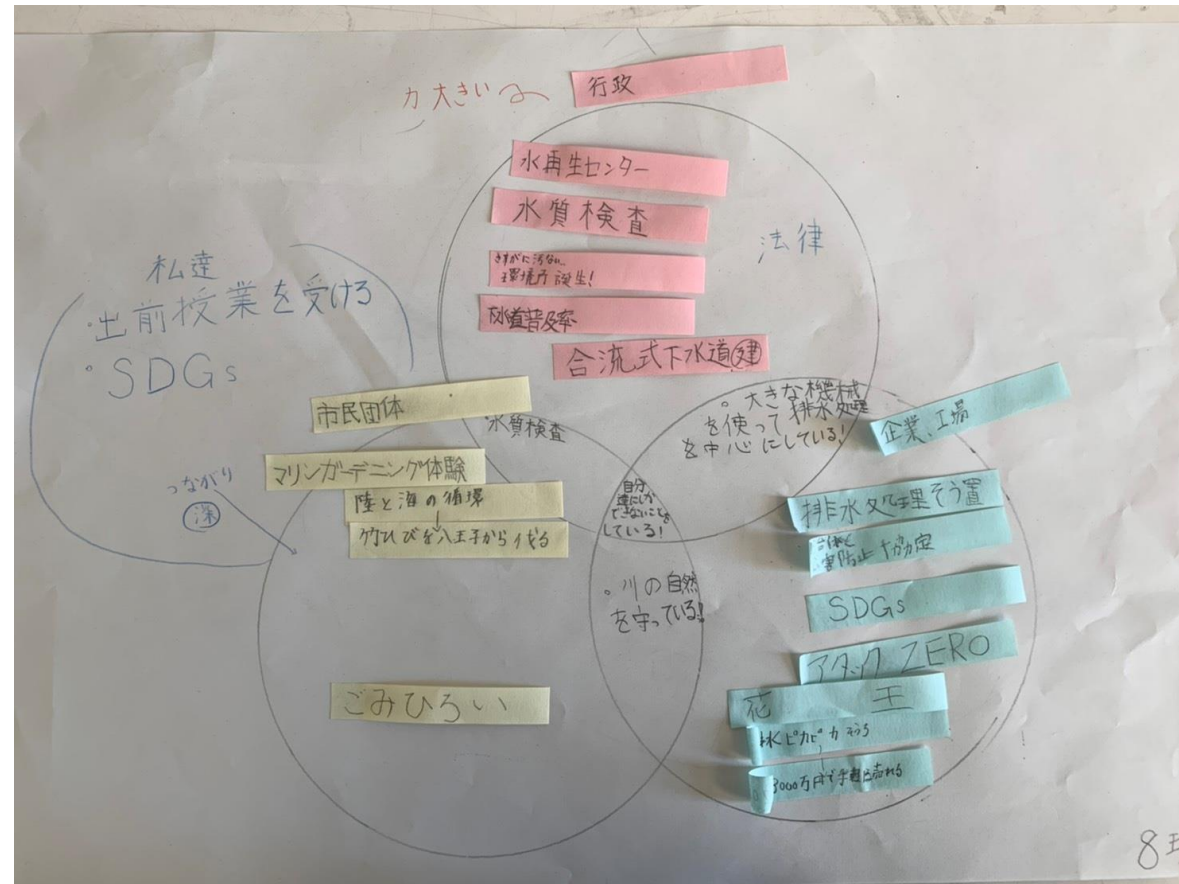
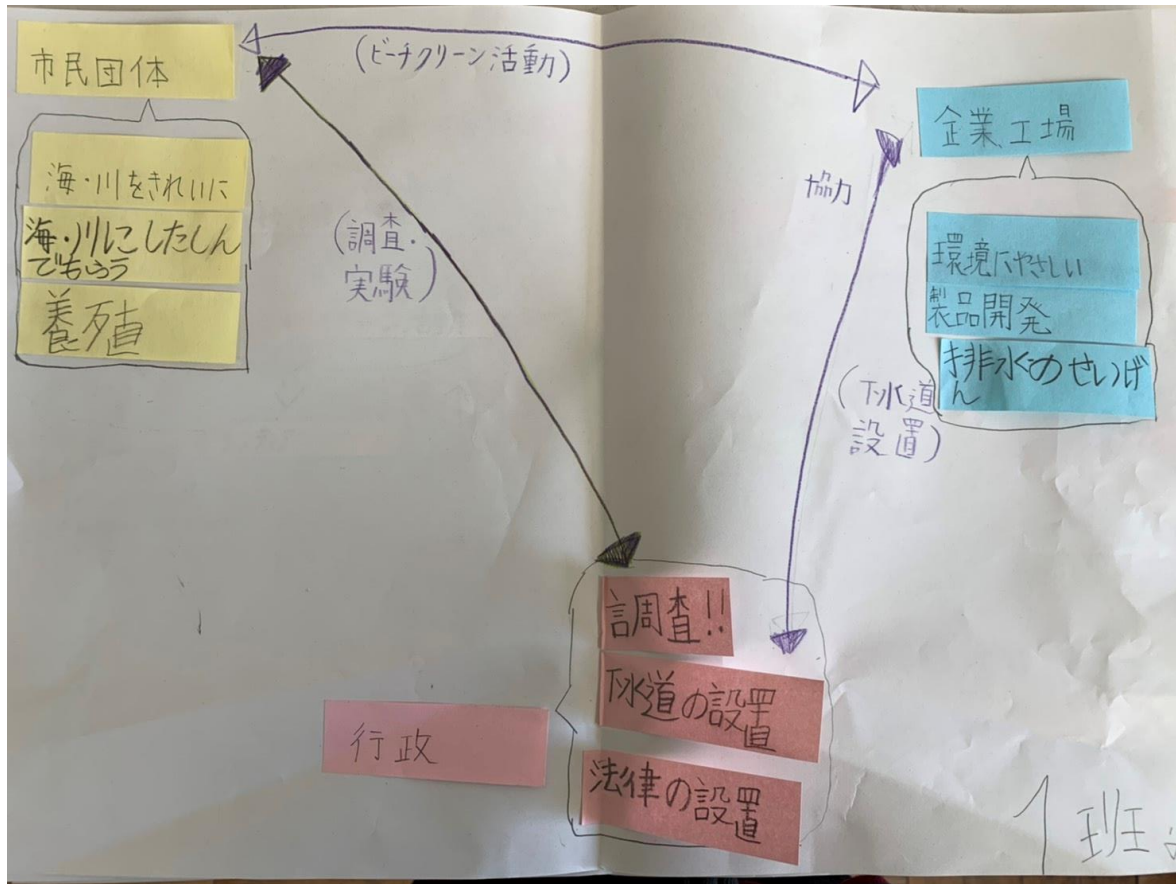
「調べる」段階の追究の仕方の工夫

児童一人一人に合った学習支援

児童の学び合い

その時間に、同じ課題を共有できる児童が、互いに学習状況を確認したり、修正したりできる時間を設定

② 図や表などにまとめて整理する活動



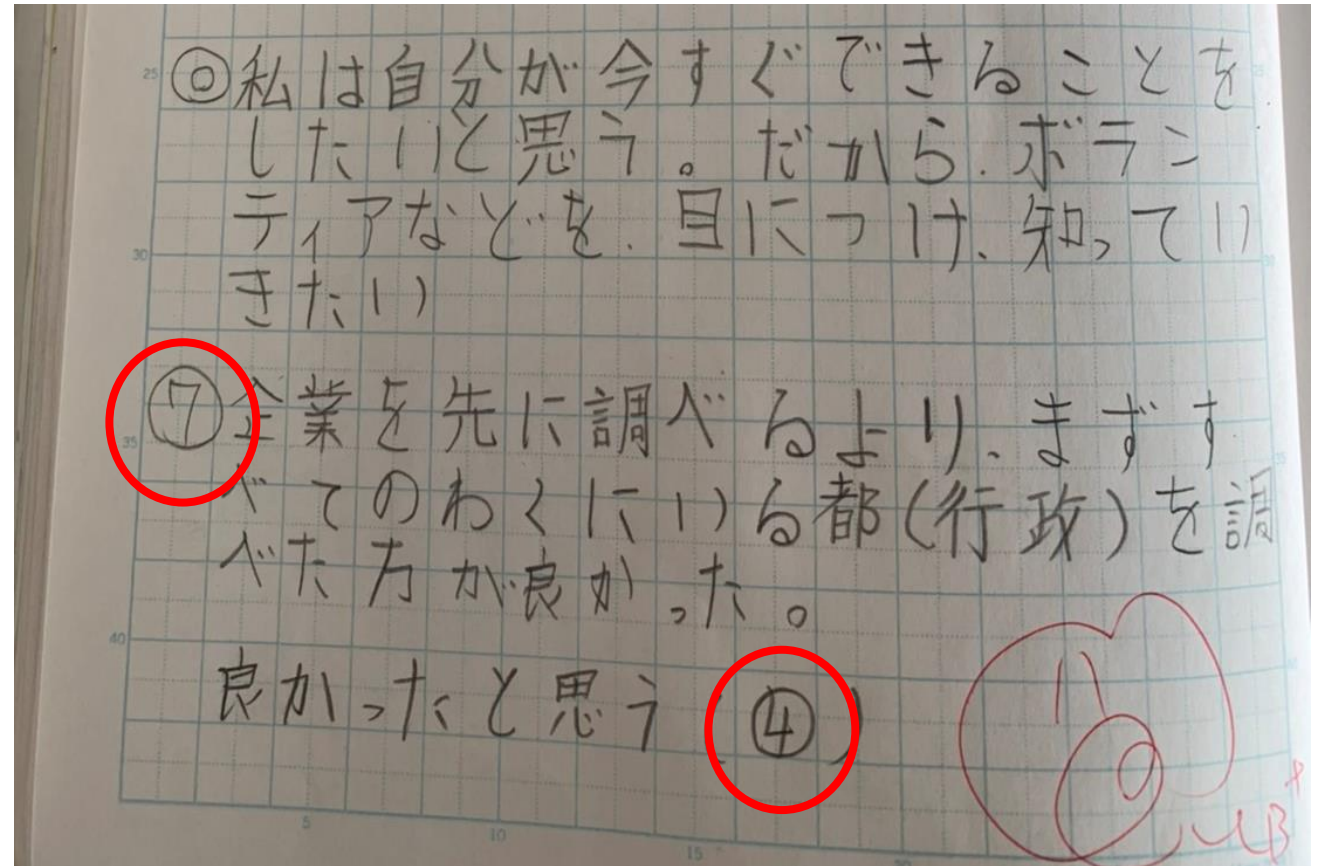
③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

～ ふりかえりの問い ver1.1 ～

☆今回の学びについて自分は…

- ①何が分かったか
- ②何が分からなかったか
- ③何を考えたか
- ④どう学んだか
- ⑤どうしたかったか
- ⑥次どうすればよいか
- ⑦そもそもどういうことなのか

感想ではなく、次の自分の学びにつながるように自分と向き合しましょう！



③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

The screenshot shows a Google Sheet with a search bar at the top and a table below. The table has 6 columns and 6 rows. The columns are labeled 1 through 6, and the rows are labeled 1 through 6. The content of the table is as follows:

	1 (つかむ)	2 (つかむ)	3 (調べる)	4 (調べる)	5 (調べる)	6 (まとめる)
①	公害の被害には、大気汚染、水質汚濁などがあると分かったり、公害の原因はひとつがついていると分かった。		企業の取り組みがわかった。	先生資料から、行政、市民団体の取り組みが分かった。		
②			工場の取り組みまで調べられなかった。			
③	①から、公害を減らすためには、環境に優しいものをつかうといいと考えた。					
④						
⑤						
⑥			今回は、ゆっくりやりすぎたので、次はもう少し早く調べようと思う。	次は、今回調べたことをまとめて、もう少し細かいところを調べたい。		

GIGAスクール構想で
こんな可能性も…
→小金井市は、Google
のアカウントを児童一
人一人に配布。
→自分の振り返りを打
ち込んで友達と互いに
閲覧できる。